



川の国応援団通信



比企フェス・川の魅力実感イベント ときとき♡わくわく☆ときがわと遊ぼう!! を開催



平成27年10月11日(日)、都幾川の新玉川橋周辺(ときがわ町)で「比企フェス・川の魅力実感イベントときとき♡わくわく☆ときがわと遊ぼう!!」を埼玉県、ときがわ町、公益社団法人比企青年会議所の主催で開催しました。

会場となったときがわ町は、町の面積のうち七割が山林を占め、清流・都幾川には、ヤマメやホタルが棲んでいます。また、空気がきれいなことから、堂平天文台が設置され、日本の天文学を支えてきました。豊かな自然に恵まれたすばらしい所です。

開会式と川の国応援団美化活動団体感謝状贈呈式は、会場の特設ステージで行いました。開会式では、上田知事、関口ときがわ町長、谷田貝比企青年会議所理事長からあいさつがありました。

川の国応援団美化活動団体への感謝状贈呈式では、日頃、河川の清掃活動に取り組まれている12団体の皆様に御登壇いただき、代表として「鴨川水辺サポーターの会」の藤野様に上田知事から感謝状をお渡ししました。

ステージでは、このほか、玉川陣屋太鼓や松山女子高校吹奏楽部の演奏など、地元ときがわ町や比企地域の団体の催しが行われました。

来場した方々に、ときがわの自然の魅力や埼玉の川について知っていただくため、「ときがわの生き物大調査」、「水質調査」、「川



ステージでの記念撮影

の国埼玉検定(初級編)」を開催しました。

ときがわの生き物大調査では、川の博物館学芸員の藤田先生、地元の川の国応援団「もりんど」の笹沼さん、山本さん、「比企の川づくり協議会」の石毛さん、白石さん、馬場さん、渡辺さんに御協力いただきました。

生き物の展示・解説を行ったほか実際に川に入って調査を行いました。

当日は、水温が低かったですが、川に入った子どもたちは、生き物を発見するたびに歓声を上げていました。また、藤田先生から生き物の説明を受けることで、一層、都幾川に対する親しみが増したようでした。

水質検査では、川の国アドバイザーの飯田さん、小原さん、篠原さん、茂木さんに御協力いただきました。最初のバックテストで、都幾川の水がきれいだと知った子どもたちは、たった1滴のスポーツドリンクで汚れてしまうことに大変驚いていました。保護者の方々には、リーフレット「川にやさしい生活知恵袋」をお渡しし、台所から出る汚れた水を減らすよう呼びかけました。

川の国埼玉検定(初級編)では、老若男女さまざまな方に御参加いただきました。70代の女性は「頭の体操になるわ」と言いながら、御友人とともにパネルを見ながら、埼玉県の川に関する知識を学んでいました。

このほか、各団体により、カヤック体験や川の再生ガイドツアー、ピンボール、石倉調査、川の耕しなどが開催されました。また、比企地域をはじめとする県内のグルメも出展され、多くの来場者でにぎわいました。

午前中は雨が降ったにも関わらず、五千人もの方に御参加いただきました。このイベントの開催に御協力いただいた地元の団体の方々、御参加いただいた多くの皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



生き物大調査

会員のひろば



活動報告

～593 団体が県内各地で活動中！～

今年の夏は、県内37会場
で「川ガキ体験イベント」が
開催されました。今回は、開催し
た2団体からの報告です。

「第16回 鳥になろう！」

魚になろう！ 大森の池まつり

事務局 清水 英弥

8月20日(日)に、入間市宮寺の不老川大森調節池において、「大森の池まつり」が開催されました。大森調節池は、不老川の洪水対策として作られた調節池で、洪水時に不老川の水位が上昇すると、自然に大森調節池に洪水を溜めることができる施設です。しかしながら、暫定的な工事であることから、素掘りのままの池となっており、湧水によって自然豊かな池となっています。

本来の目的(洪水の調節)を達成するためには、池をコンクリートで固めて、湧水が湧き出さないようにするところですが、この豊かな自然を未来の子供たちのために残したいとの思いから、保全すべ

く要望したところ、埼玉県及び入間市の協力を得ることができ、現在に至っています。普段は、敷地内に入ることはできませんが、年に一度、河川一時使用の許可をいただいで、毎年7月末～8月の日曜日到大森の池まつりを実施しています。

(社)入

間青年会

議所、不

老川流域

づくり市

民の会の

協力と西

部環境管

理事務所、

飯能県土

整備事務

所の後援を

いただき、

今回で16

回を迎えま

した。

平成24年

までは駿

河台大学、

その後も

埼玉県水

環境課の

協力のも

と、カヌー

を貸与いた

だき、大人

も子供も

カヌー体験とともに、自然を満喫できるイベントとなっています。

不老川は、昭和58年から3年連続日本一汚い川といわれていますが、清流を取り戻しつつあり、不老川や調節池では、タモ網を使った魚取りが楽しめるまでに回復しています。

不老川は、昭和58年から3年連続日本一汚い川といわれていますが、清流を取り戻しつつあり、不老川や調節池では、タモ網を使った魚取りが楽しめるまでに回復しています。

不老川は、昭和58年から3年連続日本一汚い川といわれていますが、清流を取り戻しつつあり、不老川や調節池では、タモ網を使った魚取りが楽しめるまでに回復しています。

不老川は、昭和58年から3年連続日本一汚い川といわれていますが、清流を取り戻しつつあり、不老川や調節池では、タモ網を使った魚取りが楽しめるまでに回復しています。



田中市長も不老川で魚取り！

夏のひとつの思い出作りを、

涼を求めて

「春日部夕涼みフェスタ

in 公園橋」

【春日部青年会議所 青年部】

青年部主催「春日部夕涼みフェ

スタ in 公園橋」が8月22日(土)古

利根公園橋周辺で開催され、約七

千名の来場者で賑わいました。

護岸工事が完了した大落古利根

川を地域資源として見つめ直し、

普段慣れ親しんでいない川の体験

を通じて、古利根川の思い出づく

りをしてもらいたい。また、その

記憶を次の世代につなげ春日部に

住んでいて良かったと感じてもら

いたいと企画された夕涼みフェス

タは、今年で3回目を迎えまし

た。

ボート遊覧では多くの家族連れ

が乗船し、川風を受けながら岸辺

の景色を楽しんでもらいました。

カヤック教室ではインストラクタ

ーの指導で何とか自力で漕げるよ

うになり「また参加して挑戦した

い」との声が聞かれました。じゃ

ぶじゃぶ池では涼しい木陰でスー

パーボールすくいを親子で楽しん

だり、市内銘店のグルメを片手に

音楽ステージに耳を傾ける姿も見

られました。日が暮れて川面には、

灯籠の幻想的な灯りが映し出され

ていました。

来場者は、夏のひとつの思い出作りに楽しんでいました。

なお、

今回は新

たな試み

として、

今まで大

型商業施

設側にあ

ったポー

ト発着場

を古利根

公園橋の

たもとに

移動させ

、イベント

に一体感

を持たせ

ました。た

だ、橋の

くぼんだ

場所だった

ため、発着

場が分

かりにく

なりました。

逆

メリット

が出て

しまいました。

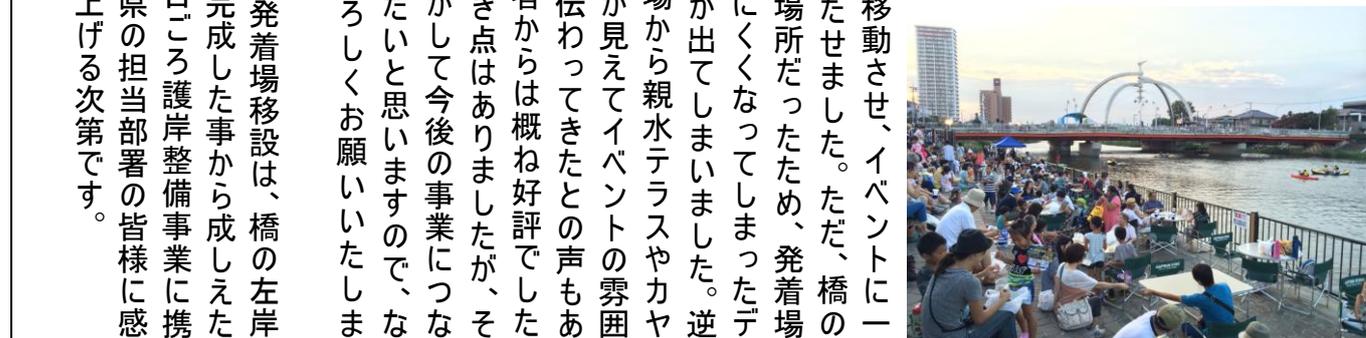
逆

に、発着

場から親

水テラス

やカヤ



川の国アドバイザー
制度の紹介



今回は、環境学習を実施した川の国アドバイザーの一人と、川の国アドバイザー制度を利用した1団体の感想を紹介します。

「川の国アドバイザー」として

環境学習を実施」

坂本 正博】

川の国アドバイザーとして、平成26年9月29日(月)に加須市立種足小学校三年生の自然観察会兼生物調査に行ってきました。会場の「風の里公園」は、見沼代用水の改修工事に伴う星川の廃川敷(三日月湖)を利用した池沼公園で、隣接した見沼代用水路と一体となった水辺生物の観察ができる場所です。

27人の生徒さんは網とバケツを持って魚取りに挑みましたが獲物は僅かでした。淡水魚は川から小水路を経て、田や池に入って産卵し



稚魚になり再び川に戻るパターンが一般的ですが、この池は用水時期や大水の時以外には水面の連続性が少ないため、遡上産卵する魚が少なく一方、飛来するカモやサギ類の餌として食べられてしまったのか、上流部芦原池に逃げ込んでしまつて魚影が少なかったのかもしれない。

網に入ったオタマジャクシやアメンボ、ヤゴ等水生生物の中に黒い線状の生き物を発見しました。生徒の一人が「ハリガネムシ」だ、前にお父さんに教えてもらったと友達に説明、この虫は昆虫や魚の寄生虫で、ちょっと奇怪な生物です。親子のふれあいと知識の伝承に「あっぱれ」をあげたいと思います。ヒシの実もありました。

最後に利根川を水源とする見沼代用水とこの近くに生息する魚や野鳥の話をして終了しましたが、空バケツにがっかりすることなく元気に野外活動を満喫した子供達の写真に明るい未来を感じました。

「川の国アドバイザーの話」を聞く」

過 昌司】

川越で「川の再生交流会」を行いました。川越で川の再生や美化活動など

をしている団体・個人に集まってもらい、「川越の水辺の再生を考える」交流会を平成26年11月に行いました。「かわごえ環境ネット」で初めての取組みでしたが、6団体と個人とで11名の参加がありました。



講師には川の国アドバイザーの渡辺仁氏に来ていただき比企の川づくりについて実績に裏付けられた教訓的かつ実践的な話をしていただきました。

その後の交流会では、参加団体からの活動報告も行いました。

“SUNUKY南小畔”は河川を防災からの視点で捉え自治会員の川への関心を高めて楽しみながらの活動。“南小畔親水クラブ”は河川の美化活動から環境教育で近くの学校との協働へと広げ、全国水生生物調査に取組んでいる。また、“小畔川の自然を考える会”は魚の棲みやすい川への改修工事が終わった小畔川に魚種が増えアユが遡上したことが分かったこと。そして、“福

原水と緑の会”は不老川の生き物調査を子どもたちと行い川に親しむ活動に取組んでいることが報告

されました。

初めて、行った今回の交流会。川を活動拠点としている団体・個人の交流で、ネットワークを作り、市内の活動の推進に貢献しています。

川の国アドバイザーの
活用のすすめ

川の再生活動を行っている皆さん、「川の国アドバイザー」が皆さんの活動を支援します。

○川の国アドバイザーって？

川の国検定で上級合格された方が登録されています。川に関する知識だけでなく、経験も豊富です。

○どんな支援を？

環境学習の講師、団体の運営や効率的な活動を行うためのアドバイスなどの支援を受けることができます。

○手続きは？

まず、水環境課に、希望する支援内容を連絡してください。水環境課が、依頼内容にふさわしい方を紹介します。

依頼団体は、紹介された方と直接、調整してください。

○費用は？

講師の派遣料や謝金は、一切かかりません。



川の再生交流会の

お知らせ！

県内全域を対象とした川の再生交流会を開催します。

事例発表や、初心者からベテラン向けまで幅広いテーマを設定した6分科会を行います。

川の再生活動のレベルアップを図りたい人、活動の輪を広げたい人、どなたも参加大歓迎です。

期日 平成28年2月6日(土)

場所 さいたま市民会館うらわ
申込 申込書を水環境課に提出

※申込書を12月上旬頃発送予定です。
ホームページにも申込書を掲載予定です。

内容(案)

※今後変更となる可能性もあります。

《10:30～12:15(ホール)》

- ・開会
- ・川の再生活動団体による事例等の発表



浦和駅西口から 徒歩7分

《13:30～15:30(各集會室)》

- 第1分科会 始めの一步
- 第2分科会 美化活動のすすめ
- 第3分科会 環境学習 地域と学校
- 第4分科会 多自然の川づくり
- 第5分科会 100プラン、まるごと等
- 第6分科会 水質改善
- 《15:45 各分科会代表者発表(ホール)》
- 《16:00 閉会》

綾瀬川の木の植樹式を 開催しました

綾瀬川再生流域会議は、無患子(ムクロジ)を綾瀬川の木として、平成27年10月4日(日)、植樹式を行いました。植樹された無患子は、綾瀬川の土手の改修工事の際伐採された木の遺伝子を引き継ぐもので、綾瀬川の再生を願い活動を続けてきた方々に守られてきました。

植樹式は、伊奈町の島田副町長、坂井教育長、伊奈町立小針中学校加藤校長御臨席のもと開催しました。
綾瀬川再生流域会議からは、綾瀬川を愛する会、川原自治会河川広場応援団、越谷市出羽地区自治会連合会、伊奈町の清掃活動に参加した伊奈町立小針中学校科学技術部の皆さんに御



参加いただきました。

また、

埼玉県河川環境団体連絡協議会、今

後、綾瀬川の木の世話をしてくださるグリーンクラブの皆さんにも御参加いただきました。

この植樹を通して、自然の大切さ、綾瀬川を大切にすることを伝えていきます。



※綾瀬川再生流域会議・綾瀬川(支流含む)で活動する川の国応援団と綾瀬川流域9市町で構成。



発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301
さいたま市浦和区高砂3-15-1
(第3庁舎1階)

TEL:048-830-3088
FAX:048-830-4773

E-mail: a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。

☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。

☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0505/kawanokuniouendan/index.html>

